
OCF「CIMセミナー2018」開催にあたって

(一社) オープンCADフォーマット評議会
代表理事 竹内幹男



一般社団法人オープンCADフォーマット評議会（略称OCF）

OCF オープンCADフォーマット評議会

OCF検定	Open CIM Forum	SXF技術者検定試験
<ul style="list-style-type: none">OCF検定の認証ソフト情報を更新しました。(18/10/31)「LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準(案)Ver.1.2(平成30年3月)」を適用した検定を開始しました。(18/10/01)「SXF表示機能及び確認機能要件書(案)平成30年3月版」を適用した検定を開始しました。(18/10/01)「LandXMLに準じた3次元設計データ対応検定」開始。認証ソフトウェア一覧を公開しました。(18/03/30)	<ul style="list-style-type: none">国土交通省「CIMリクワイアメント対応情報」をH30年度版に更新しました。今後も随時更新していきます。(18/11/5) new「CIMセミナー2018」の各講演の資料(PDF)を掲載しました。(18/11/04) new「BIM/CIM対応ソフトウェアマップ」、まず土編を公開しました。他編も随時公開していきます。(18/10/25) newOpenCIMForum主催「CIMセミナー2018」満席となりました。多数のお申込みありがとうございました。(18/10/24)	<ul style="list-style-type: none">重要なお知らせ (18/04/18)
評議会の設立趣旨 評議会の運営 活動方針 OCFの歩み OCFの会員と募集要項 イベント情報 ダウンロード	OCFは「CALIS/EC・SXF」と「CIM」を推進する関連ベンダーの団体です。 	

<http://www.ocf.or.jp/>

- 市販ソフトウェアがCALISやBIM/CIMの仕様に準拠しているかを検定する、「**OCF検定**」
- 「**SXF技術者検定試験**」は2017年度をもって新規試験・更新を終了しました。
- BIM/CIM推進を支援し、情報流通基盤を提供する、「**Open CIM Forum**」

年	建設業の情報化動向	OCFの活動
1996	建設CALS/EC整備基本構想	(社)日本パーソナルコンピュータソフトウェア協会
1997	建設CALS/ECアクションプログラム	
1998		オープンCADフォーマット評議会設立、データ交換実験
1999	CADデータ交換標準開発コンソーシアム(SCADEC)発足	SCADECに参画、建設業のための「STEP入門セミナー」開催
2000	建設情報標準化委員会発足	STEP国際会議(仏)に参加
2001	第一次建設情報標準化推進計画	電子納品に向けて「SXFキックオフセミナー」開催、 OCF検定開始
2002	CAD製図基準(案)にSXF(p21)と明記	CALS/EC MESSE 2003に出展、セミナー開催
2003	SXF Ver.3.0公開	「SXF変換を意識したCAD製図」公開
2004	第二次建設情報標準化三箇年推進計画	CADデータ交換標準小委員会委員、 SXF技術者検定試験開始
2005		OCF検定 SXF Ver.3.0対応検定開始
2006	CALS/ECアクションプログラム2005	OCF検定 道路基盤情報属性セット検定開始
2007	SXF Ver.3.1公開	OCF検定 新しい体系に移行
2008	CAD製図基準(案)改定 (SXF Ver.2.0以上) 社会基盤情報標準化委員会へ改名	SXF技術者検定試験 CBT試験に移行、OCF検定 SXF Ver.3.1対応検定開始
2009	CALS/ECアクションプログラム2008 国交省CALS/EC推進会議設置	一般社団法人化
2010	社会基盤情報標準化推進計画2010-2012	OCF検定 SXF確認機能検定開始
2011		SXF技術者検定試験 更新セミナーをDVDにて
2012	国交省 CIM検討体制と試行(業務)	SXF共通ライブラリの保守をJACICより移管
2013	国交省 CIM試行(業務、工事)	CIM技術検討会に参加、OpenCIMForumキックオフ「OCF CIMセミナー」
2014	CIM技術検討会正式メンバーとして参加 「産学官CIM」に参加	OpenCIMForum発足 、SXF技術者検定試験 更新セミナーのWeb化
2015		「CIMセミナー名古屋・大阪」の開催
2016	i-Construction 15の基準公開 国交省「CIM導入推進委員会」に参加	i-Construction基準：LandXML対応ソフト一覧の公開 「CIMセミナー2016」東京、名古屋、札幌にて開催
2017	CIM導入ガイドライン類の公開 CIMがi-Construction推進の柱に	CIM導入ガイドライン対応ソフト一覧、リクワイヤメント対応情報の公開 「CIMセミナー2017」東京、名古屋、福岡にて開催
2018	国交省「BIM/CIM推進委員会」に参加	LandXML検定開始 、「CIMセミナー2018」

OCF検定：LandXML検定

検定基準：

LandXML1.2に準じた3次元設計データ交換標準（案）Ver.1.2
（平成30年3月）

会社名	ソフトウェア名称	Ver.
(株)エムティシー	道路・鉄道線形計画システム APS-MarkIV Win	12
	線形システム APS-RL Win	10
	道路横断面システム APS-ODAN	2
	交差点設計図化システム APS-C Win	10
	現況高さ編集ソフト APS-ZE Win	4
オートデスク(株)	AutoCAD Civil3D	2018
川田テクノシステム(株)	道路平面・縦横断面CAD V-ROAD・V-ROAD/M 『i-Con オプション』	21
	建設系3D汎用CAD V-nasClair 『i-ConCIM_Kit』	2018
(株)建設システム	SITECH 3D	6
(株)三英技研	STRAXcube	4
	LANDCube	1
(株)ニコノトリンブル	Trimble Business Center	4
(株)ビーガル	BIGAL 3DViewer	1
(株)ビッグバン	Bigvan LandXML Viewer	1
	Bigvan LandXML Editor	1
福井コンピュータ(株)	TREND-CORE	4
	TREND-POINT	5
	EX-TREND 武蔵 建設CAD	18
	TREND-ONE	2
	Mercury-ONE	2

対応機能				
No.	機能種別	出力 検定	入力 検定	備考
1	中心線形データ作成	○	○	
2	横断データ作成	○	○	オプションが必要 ※1 入力は横断現況のみ。 舗装工、側溝等を含む横断面の作成 には対応していないため、計画面 みの横断面を作成します。
3	サーフェスデータ作成	○	○	
4	データ編集			
5	帳票作成	主要点計算書	○	
		中間点計算書	○	
		IP諸元計算書	○	
		縦断面計算書	○	
6	図面作成	横断勾配計算書	○	横断勾配は出力のみ
		線形図	○	
		縦断面図	○	オプションが必要 ※2
				オプションが必要 ※1

i-Con・CIMモデルの一つLandXMLに関して
2018年3月より検定を開始しています

http://www.ocf.or.jp/kentei/land_soft.shtml

OpenCIMForum

BIM/CIMの課題解決にベンダーサイドから取り組んでいます

これまでのCIMセミナー

開催年	タイトル	開催地	概要・テーマ
2013年	CIMセミナー2013	東京	OpenCIMForumキックオフ ～CIM時代のデータ連携を探る～
2014年	CIMセミナー2014	東京	Open CIM ForumにおけるCIMへの取り組み
2015年	CIMセミナー・名古屋	名古屋	Open CIM ForumにおけるCIMへの取り組み
	CIMセミナー・大阪	大阪	Open CIM ForumにおけるCIMへの取り組み
	CIMセミナー2015	東京	CIMソフトウェアの現在と未来を語る
2016年	CIMセミナー2016 東京	東京	CIM・i-Constructionにおけるモデル交換
	CIMセミナー2016 名古屋	名古屋	CIM・i-Constructionにおけるモデル交換
	CIMセミナー2016 札幌	札幌	CIM・i-Constructionにおけるモデル交換
2017年	CIMセミナー2017 東京	東京	CIM・i-Conを推進する3次元モデル
	CIMセミナー2017 福岡	福岡	CIM・i-Conを推進する3次元モデル
	CIMセミナー2017 名古屋	名古屋	CIM・i-Conを推進する3次元モデル

展示・
デモ
ブース

CIMモデル（LandXML、IFC）によるデータ連携への取り組みをはじめ、BIM/CIMソフトウェアの最新情報をお届けしてきました

本日のCIMセミナー2018

時間	内容		講師等	
13:00	開会	開催にあたって	OCF代表理事	竹内幹男
13:05	講演1	国交省におけるBIM/CIMの取組について ～CIMリクワイヤメントの状況～	国土交通省 大臣官房技術調査課 建設システム係長	嶋田剛士氏
13:50	講演2	BIM/CIMの普及・促進に向けて ～CIMリクワイヤメント対応～	建設コンサルタンツ協会 CIM対応SWG長 株式会社長大	加藤雅彦氏
14:20	休憩			
14:35	講演3	OCFのBIM/CIMの取り組み	OpenCIMForum	
14:55	デモ	設計・施工の CIMリクワイヤメントの実践！ ～ベンダー各社による リクワイヤメント対応デモ～	OpenCIMForum会員ベンダー 1.フォーラムエイト 2.川田テクノシステム 3.応用地質 4.地層科学研究所 5.福井コンピュータ 6.エムティシー 7.オートデスク	
16:55	閉会	閉会挨拶	OCF理事	土屋義彦

平成30年度のCIMリクワイヤメント

リクワイヤメント（発注者から受注者への要求事項）

- ① **契約図書化に向けた CIM モデルの構築（設計・施工）**
 - ・新たに策定した「3次元モデル表記標準（案）」をもとに2D図面と連動した3Dモデル作成・活用を実施。
- ② **関係者間での情報連携及びオンライン電子納品の試行**
 - ・新たに策定した「情報共有システム機能要件」をもとに3Dビューを活用した関係者間共有、オンライン納品を実施。
- ③ **属性情報の付与**
 - ・付与すべき属性情報を検討、結果を一覧にとりまとめる。（H30年度からIFCによる属性情報の直接付与が可能に）
- ④ **CIM モデルによる数量、工事費、工期算出**
 - ・3Dモデルでの数量算出のため、改定された「土木工事数量算出要領（案）」をもとに課題や結果をとりまとめる。
- ⑤ **CIM モデルによる効率的な照査の実施**
 - ・詳細設計照査要領に基づく従来の照査と比較し、3Dでの照査による効率化の程度についてとりまとめる。
- ⑥ **施工段階での CIM モデルの効率的な活用**
 - ・施工計画検討を動画によって実施。工事においては計測機器と連携した出来形確認を実施。
- ⑦ **その他【現場特性に応じて設定】**
 - ・実施する現場の特性に応じてカスタマイズ。受発注者の協議を介し、3Dデータ活用による生産性向上の手立てを探る。

要求事項の本筋を見据えて、OpenCIMForum及び各社、取組みを進めています

OCF / OpenCIMForumは、
BIM/CIMを推進するベンダー団体として
一丸となって活動しています。
最後までご清聴宜しくお願いいたします。

(一社) オープンCADフォーマット評議会
OpenCIMForum

<http://www.ocf.or.jp/>